

News Release

2017年1月18日

報道資料

ブリヂストンスポーツのゴルフボール開発に音響技術で協力 ～ソフトでありながら、飛び感のある打感・打音を追求～

パイオニアは、ブリヂストンスポーツ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：榎本 富男、以下、「ブリヂストンスポーツ」）と、ゴルフボールの打感・打音に関する共同研究を進めています。これは、同社のゴルフボール研究開発において、ゴルファーが重視する「打感」の良し悪しには耳から入る「打音」が大きく影響していることに着目し、当社の研究開発部門が音響技術でサポートすることで、理想的な打感・打音を実現させることを目的としています。

当社は、長年培ってきた音響技術を用いて、2016年3月にブリヂストンスポーツより発売された「BRIDGESTONE GOLF TOUR B330シリーズ」に引き続き、新製品「NEW PHYZ」（ニュー ファイズ）の開発をサポートしました。「NEW PHYZ」は、迫力のある打音を追求することで、ソフトでありながら、飛び感のある「打感」を実現しており、2017年3月3日にブリヂストンスポーツより発売される予定です。

【ブリヂストンスポーツ 新製品「NEW PHYZ」について】

詳細はこちらのサイトをご参照下さい。 <http://www.bs-sports.co.jp/>



【当社の音響技術と新製品「NEW PHYZ」の打感・打音について】

当社の音響技術者がゴルファーの放つ実打音のわずかな差異に着眼し、音響解析によって“お客様が好むとされる「打感」と「打音」の印象・音響特性”との関係を定性的かつ定量的に分析。

